

文 教 厚 生 常 任 委 員 会 資 料
2025 年（令和 7 年）6 月 20 日
福祉局あかし保健所保健総務課

救急安心センターひょうご（＃7119）の実施について

1 事業概要

急な病気やけがをしたときに、救急車を呼んだほうがいいのか、今すぐ病院に行ったほうがいいのか等、迷った際の相談窓口として、電話で専門家からアドバイスを受けることができる電話相談事業です。

2 事業内容

(1)実施主体

救急安心センターひょうご運営委員会（兵庫県及び県内41市町により構成）

令和7年度当初予算 11,300 千円

〔財源〕特別交付税措置：1/2、県交付金：1/4

(2)実施方法

- ・コールセンター方式により実施（実施主体が民間事業者に業務を委託）
- ・24時間365日対応

(3)主な相談内容

- ・救急車を呼ぶか呼ばないかの相談（救急医療相談）
- ・どの医療機関をいつ受診すればよいかの相談（医療機関案内）

(4)事業開始日

令和7年7月11日（金）午前9時から

3 周知啓発

本年6月下旬より、市の広報媒体や関連団体等を通じ継続的に周知啓発を行います。

【主な周知啓発方法】

- ・広報あかしへの掲載
 - ・明石市ホームページへの掲載
 - ・公式SNS（LINE、Instagramなど）による情報発信
 - ・啓発チラシ配布、ポスター掲示（公共施設、自治会、医療機関、福祉施設など）
- ※別紙「啓発チラシ」参照

急な病気やケガ…

案

行ったほうがいい

病院に?

呼ぶべき

救急車を

迷ったら…

どうしよう…

救急医療相談・医療機関案内ダイヤル

24時間
365日対応

救急安心センターひょうご

シャープ

ナナ

イチ

イチ

キュー

#

7

1

1

9

救急車を呼ぶべきか迷った時や、どの医療機関をいつ受診すればよいかわからない時に、24時間いつでも相談を受け付ける短縮ダイヤルです。

直通ダイヤル 078-331-7119

※IP電話及び市外局番が06または072の固定電話等からは、直通ダイヤルにおかけください。



©兵庫県2007

救急医療相談

緊急性や受診の必要性についてアドバイス

医療機関案内

受診可能な医療機関の案内

2025年7月11日(午前9時)から 兵庫県全域で #7119 が利用できます

救急安心センターひょうご運営委員会(構成: 兵庫県と県内全ての市町)

たとえばこんなとき

- 熱が下がらない
- 急にお腹が痛くなった
- 夜中にけがをしてしまった

相談の流れ

#7119 に電話する



※回線が混雑しているときはガイダンスに従いそのまましばらくお待ちください。

救急医療相談

医療機関案内

相談員が対応

(看護師 または 救急救命士)

- 病気やけがの状態を把握
- 緊急性について判断



緊急性が
高い場合

緊急性が
低い場合

受診できる医療機関を案内

- 受診する
タイミングを
アドバイス



119番を案内



- 特に緊急性が高い場合は
そのまま119番へ電話転送

※自治体によってはご自身で119番へ
かけていただく必要があります。

- ・服薬や現在通院している病院での治療方針、介護・健康・育児に関する相談は対象外です。
- ・救急医療相談を希望される場合、相談対象者がお近くにいない状況での電話には対応できません。
- ・聴覚や発話に困難のある方は電話リレーサービスをお使いいただけます。
- ・相談料は無料ですが、通話料は相談者負担です。

救うことが
できる命を
守るために



©兵庫県2007

#7119をご活用いただき、地域の限られた医療資源である救急車の適正利用にご協力ください。

救急車の出動件数は年々増加し、現場到着までの時間が大幅に延びています。しかし、救急車が搬送した人のおよそ半数は「軽症」です。

このまま救急出動が増え続けると、重症の方への対応が手遅れになり、助かるはずの命が助からなくなります。救急車の適正な利用にご協力いただき、救急車を呼ぶべきか判断に迷ったときは#7119をご活用ください。

救急医療相談は、看護師等による医療機関受診のためのアドバイス提供を目的としたサービスです。



緊急を要すると思ったら119番に電話してください。